

感染拡大を防止し、命を守るため

感染震源地を明確にする

日本共産党

# PCR検査の抜本的な拡充を

新型コロナ感染症が拡大しています。日本共産党は、感染拡大を防止し、府民の命と健康を守るとともに、再度の緊急事態宣言を回避するため、国、府、市にPCR検査を抜本的に拡充するよう求めます。実現に全力を尽くします。



新型コロナ「第2波」への緊急対策を求める石川たえ府議団長と内海公仁府議団政調会長(8月3日・大阪府庁)

- 1 感染が集中している感染震源地を明確にし、その地域に住み、働く人たち全員にPCR検査を実施する。無症状者を含め、感染力のある人を把握し、隔離・保護する。
- 2 医師会と行政、開業医の連携で、発熱外来・PCR検査センターを各地につくる。
- 3 感染リスクの高い医療機関、介護・福祉施設などの職員への定期的な検査を行う。施設利用者の検査も必要に応じて行う。
- 4 陽性者を、隔離・保護・治療する体制——宿泊療養施設、病床の確保を緊急に整える。医療機関と従事者への思い切った財政的支援を行う。
- 5 誰でも、いつでも、何度でもPCR検査を受けられる体制をめざす。

**世田谷モデル**：東京都世田谷区では、一日に2～3千人規模を想定し、病院や介護、保育などの職員には定期的に検査する体制整備を提唱。さらに米ニューヨーク並みに「誰でも、いつでも、何度でも」検査できる体制を目指す。

## コロナ危機を克服し、よりよい大阪へ

### 日本共産党の提案

#### 医療・社会保障の削減から

#### 医療・介護・保育が充実した大阪に

- 公立・公的病院の統廃合計画を中止する。命・健康を守るために必要な病床数を確保する。
- 保健所を復活・増設し、職員を増やす。

#### インバウンドとカジノ頼みから

#### ふところをあたためて景気回復、成長する大阪に

- 「消費税5%への減税」、「安心の社会保障」、「人間らしい働き方」で、ふところをあたため景気を回復させる。
- インバウンド(外国人観光客)頼みを改め、中小企業・雇用者支援を軸とした経済政策に切り替える。
- カジノ誘致は中止する。



「カジノより福祉・医療・教育に」とアピールする府民要求連絡会のパレード

#### 教育、文化の切り捨てから

#### 子どもが豊かに育つ大阪に

- 20人程度の少人数学級にする。
- 学校の給食費を無償にする。
- 大学の学費を半減、さらに無償化に向かう。

#### 「何でも民営化」から

#### 府も、市も「公」の役割を果たす大阪に

- 効率至上主義で「何でも民営化」する政治から、「公共」中心の府・市政に転換する。
- 「公」の役割を果たすために必要な職員を増やす。

#### 対立・分断から

#### 多様性を尊重、尊厳をもっとくらせる大阪に

ジェンダー平等はじめ多様性を尊重しあい、誰もが人間らしくくらせる大阪にする。



発行：日本共産党大阪府委員会  
2020年8月5日 No.358  
日本共産党大阪府委員会の見解を紹介しています

大阪市阿倍野区天王寺町北2-5-19  
TEL.06-6762-8771  
FAX.06-6770-5047

E-mail: info@jcp-osaka.jp  
URL: http://www.jcp-osaka.jp/

JCP大阪 検索

